

# 歯科口腔外科

## 1. スタッフ

教授 草間 幹夫  
 准教授 神部 芳則  
 准教授 小佐野仁志  
 講師 野口 忠秀 (外来医長)  
 助教 伊藤 弘人 (病棟医長)  
 病院助手 土屋 欣之  
 篠崎 泰久 (医局長)  
 宮城 徳人  
 非常勤講師 大橋 一之  
 内藤 浩美  
 笹栗 健一  
 他常勤医師 11人  
 非常勤医師 8人

伊藤 弘人  
 松本 浩一  
 日本口腔診断学会認定医 神部 芳則  
 大橋 一之  
 野口 忠秀  
 内藤 浩美  
 日本歯科放射線学会専門医 神部 芳則  
 日本歯科保存学会認定医 小佐野仁志  
 日本歯科保存学会指導医 小佐野仁志  
 日本障害者歯科学会認定医 池田 薫

## 2. 診療科の特徴

患者は他の医療機関からの紹介患者を中心とし、口腔癌を主とする悪性腫瘍、良性腫瘍、顎顔面領域の外傷、炎症、奇形、嚢胞、口腔粘膜疾患、顎変形症、顎関節症、口腔インプラント治療などの外科的治療を中心に行っている。特に、最近では口腔癌術前化学放射線療法後の機能温存手術、口腔癌の顎機能的再建手術、口腔粘膜疾患と全身疾患、唇顎口蓋裂の顎発育誘導・咬合改善、摂食嚥下機能の改善によるNSTへの貢献、緩和ケアでの口腔疾患とケア、ビスフォスフォネート製剤による顎骨髄炎を注目して診療している。また全身疾患を有する患者や障害者の歯科口腔外科処置・ケアを行っている。他科で加療中の患者の全身疾患と関連する口腔病変の治療に取り組むとともに、免疫不全の状態にある患者や、心弁膜疾患（弁置換）患者、各種の移植患者などの病巣感染の原因除去や口腔のケアを行っている。

### 認定施設

日本口腔外科学会指定研修機関  
 日本顎関節学会認定研修機関

### 専門医

日本口腔外科学会指導医 草間 幹夫  
 神部 芳則  
 野口 忠秀  
 伊藤 弘人  
 日本口腔外科学会専門医 草間 幹夫  
 神部 芳則  
 小佐野仁志  
 野口 忠秀

## 3. 診療実績 (平成20年1月～12月)

### 1) 新患者数、再来患者数、紹介率

新患者数 4,741人  
 再来患者数 28,764人  
 紹介率 医療法53.4%、健康保険法49.2%

### 2) 入院患者数

	入院数
1 口腔癌	77
2 顎骨嚢胞	60
3 埋伏歯	46
4 蜂巣炎	44
5 顎骨骨折	29
6 多数歯う蝕	27
7 下顎良性腫瘍	16
8 智歯周囲炎	14
9 根尖性歯周炎	9
10 腸骨移植	8
11 顎骨炎	8
12 口蓋裂	5
13 抜釘	4
14 上顎洞炎	4
15 唾石症	4
16 血管腫	4
17 帯状疱疹	3
18 口蓋腫瘍	3
19 粘膜裂傷	3
20 顎変形症	2
21 インプラント周囲炎	2
22 上顎良性腫瘍	2
23 骨隆起	2
24 その他	6
合計	381

## 3) 手術症例病名別件数 (入院)

		手術件数
1	顎骨嚢胞摘出術	41
2	埋伏歯抜歯	40
3	悪性腫瘍切除	32
4	良性腫瘍摘出・切除	30
5	観血的整復固定術	18
6	う蝕治療	16
7	頸部郭清術	14
8	上顎洞根治術	13
9	その他	13
10	腸骨移植	5
11	口蓋形成術	5
12	抜釘術	4
13	下顎枝矢状分割術	2
14	骨移植術	2
15	顎下腺摘出術	2
16	インプラント摘出術	2
17	腐骨除去	1
18	顎堤形成術	1
19	プレート交換	1
	合 計	242

## 4) 外来手術件数

741件

## 5) 化学療法症例数

13症例

## 6) 放射線療法症例数

9 症例

## 7) 悪性腫瘍の治療成績

・ Stage別 3 粗年累積生存率

Stage I 91.6%

Stage II 88.3%

Stage III 69.5%

Stage IV 60.2%

全対象 84.9%

## 8) 死亡症例

a. 死因

腫瘍死 6 人

b. 剖検数・率

0 (%)

## 9) 主な処置・検査

口腔機能検査…VF検査、VE検査、咬合力検査

(デンタルプレスケール)

口腔内超音波検査、PET検査

外科的顎矯正装置…REDシステム

インプラントのための特殊なCT画像処理…

SIM/PLANT

## 10) カンファランス

病棟カンファランス 月 8:00~8:30

放射線カンファランス 月 17:30~18:00 (隔週)

抄読会、医局会 火 18:00~20:00

教授回診 水 8:30~10:30

症例検討会 木 18:00~20:00

研究連絡会 木 18:00~20:00

腫瘍カンファランス 木 18:00~20:00

## 4. その他・来年度の目標

## 1) 専門外来の確立

腫瘍・摂食嚥下・粘膜疾患・顎関節症・

インプラント・矯正・口唇口蓋裂・顎補綴・

顎変形症

## 2) 病診連携の充実

## 3) 高度先進医療の拡充